

# 「和」を語る

## 独自の発展を遂げた日本の和服文化

2019年9月8日(日)

13:30~

(開場13:00)

会場:ミュージアム中仙道 2階ホール

※美術館の入館料300円が必要となります  
※事前予約優先 自由席 定員100名

京都国立博物館名誉館員 (一社)文化財衣裳修復学会会員

切畑 健 × 樹田 紅陽

美濃歌舞伎博物館・相生座 館長

小栗 幸江

県文化財の衣裳を再現する

日本の伝統服飾の研究者、京紬や文化財修復の専門家、そして相生座の館長による特別講演会。

『源氏物語』から日本の服飾の歴史や発展について、切畑氏による講演。

その後には、3名がそれぞれ異なる視点から「和の服飾の歴史」や「文化財の修復復元」について語り合います。

打掛 黒縹子地 金縷竹に雀文 (岐阜県重要有形民俗文化財)

### ミュージアム中仙道

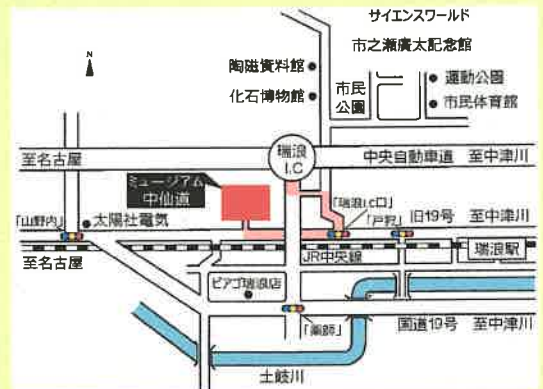
〒509-6133 岐阜県瑞浪市明世町戸狩 3 3 1

お問合せ TEL 0572-68-0505

FAX 0572-68-0611

MAIL [museum@nakasendou.jp](mailto:museum@nakasendou.jp)

HP <http://nakasendou.jp/museum/>



本事業にご支援いただいている  
企業・団体

公益財団法人  
田口福寿会

OKB 大垣共立銀行

十六銀行